



阿南高専便り



学生による学校生活のWeb 報告会



CONTENTS

- 1 … 校長挨拶
- 2 … 卒業を祝う
 - ・機械コース
 - ・電気コース
 - ・情報コース
 - ・建設コース
 - ・化学コース
- 8 … 修了を祝う
 - ・専攻科
- 9 … 別れのあいさつ
- 10 … 総合文化祭参加報告
- 11 … 高専祭・グローバル推進室便り
- 12 … キャリア支援室便り
- 13 … 各コース進路状況・学生の活躍
- 14 … 図書館便り
- 15 … 各種大会報告

校長からのメッセージ

誇りと感謝を胸に大志と共に 大海へ漕ぎ出しましょう

阿南工業高等専門学校
校長 平山 けい

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん心からおめでとうございます。

コロナ禍が続くこの2年間、「学びを止めない」また、学生の「安心・安全」を最優先に考慮し学校運営をしてきました。皆さんは、非常に真摯に学校の対応を受け止め行動してくださり、多くの寮生を抱えながらもクラスターを起こすこともなく、対面授業で無事1年を終えることが出来ました。感謝です。皆さんは、出来ないことが多い中、我慢と工夫を重ね、真摯にチャレンジし続けてくれました。1年ぶりに全国高専体育大会や四国地区高専総文祭等が開催され、学生の輝く笑顔と活躍が見られました。その他の活動でも、成果を発揮し、数多くの賞を得ることが出来ました。しかし、皆さんが経験するはずの普段通りの学生生活やチャレンジ精神に少なからず歯止めがかかってしまったことに対しては、大変申し訳なく思います。自分たちが経験してきた普段通りの高専生活の経験が出来ない後輩に対し、何か出来ることはないかと工夫と思い遣りのある行動をして頂いた皆様には感謝致します。この様な考えと行動が出来る皆さんをととても頼もしく誇りに思います。我慢の中で、普段では気づけなかった他者への思い遣りを学んでいるからこそその行動だと思えます。コロナ禍で家族や友人の大切さ、普段何気ない時間を共に出来ることがどれだけ大切であるかを感じた学生も多いのではないかと思います。5年または7年間一緒に過ごした仲間の絆も深まり、高専で学んだ者同士の友情が何ものにも代えがたいかけがえないもので有ると認識し始めているのではないのでしょうか。これからもこの絆を大切に、前向きにチャレンジしながら進んで欲しいと願っています。

コロナ禍いかに関わらず、高専を卒業・修了していくことは並大抵の事ではありません。様々な困難に出会うたび、葛藤を繰り返しながらも前向きに努力を続け、数多くの山を乗り越え、卒業・修了にたどり着いた皆さんです。これまでの努力や前向きな行動に対し「本当に良く頑張った！」と自分自身を褒め大きな自己肯定をしてください。また、どんな時にも皆さんの背中を押し、支えてくださったご家族・先生方始め多くの方々への感謝を胸に更なる自分の夢の実現に向かって進んで頂きたいと願います。本校で学んだ知識や技術は、あくまでも基礎知識です。非常に大きな流れで動いている今の社会の中では、更なる高みを目指した学びの継続と自分自身のこころを磨く意識が大切です。学んだ知識を誰かのために役立つ知恵に変え、世の中の幸せのために働ける大きな志を持ったエンジニアを目指してください。高専のエンジニア教育は、世界の「KOSEN」として展開し発展し続けています。阿南高専卒業生の誇りと感謝を胸に皆さんも大志と共に大海へ漕ぎ出しましょう。

私事ですが、3月末で阿南高専を退任致します。本校に繋がる皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念し、御礼の挨拶に変えさせていただきます。



球技大会

贈る言葉

遊戯三昧

機械コース 5年担任 西野 精一

卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、指導に尽力された皆様、ありがとうございました。卒業生はこれまでの支えを思いかえし、育て指導いただいたことへの感謝の気持ちをもって社会へと旅立って欲しいと思います。阿南高専での5年間で、みなさんは機械工学の専門知識や技能だけでなく、寮生活、部活動を通じて多くの友人や恩師を得たことと思います。本年度の卒業生は、4年生の頃からコロナ禍の中でのオンラインでの遠隔授業・就職活動など困難な学生生活となりました。

4月からは社会人や大学生として巣立つ皆さんに「遊戯三昧」という言葉を送ります。この言葉は、単に「遊ぶ」という意味ではなく、「することを、楽しめ」という意味です。皆さんはこれから、様々な仕事や課題に直面します。でも、「することを楽しむ」すなわち、仕事をさせられるのではなく、自ら楽しんで課題解決し仕事していくことが、人生を充実させる要素だと思います。仕事を楽しんで、プロのエンジニアとして活躍するとともに日本の発展に貢献してくれることを期待しています。



2年次工場見学旅行



2年次工場見学旅行

5年生の言葉

■機械コース

1年担任 松尾俊寛、山田洋平、櫛田雅弘、谷中俊裕
 2年担任 城本春佳 3年担任 西本浩司
 4年担任 川畑成之 5年担任 西野 精一

■愛す。バスケ。愛す。

麻植 龍星

やはり、バスケットボールだ。私はこの夏にバスケット人生を終わらせようと仲間たちと頑張った。楽しかった。しかしコロナで私の夏はあっけなく終わってしまった。あんなに盛り上がっていたバスも沈静化した。悔しくて泣いた。辛かったが最近考えるようになった。まだ私はバスケット人生を終わらせる運命ではない。そんな気がした。楽しかったことも辛かったこともあるバスケット。I'll love you forever and ever. これからも一生愛していようと思う。

■最も力を入れた事

大島 泰星

高専時代を振り返って最も力を入れたことは、部活動です。部活動はロボット研究部に所属しており、1年生の頃から成績をある程度犠牲にし、ものづくりに取り組んできました。結果、チームリーダーや設計などを務めた2020年度の地区大会において好成績を残し、本校としては8年ぶりの全国大会出場を決めました。さらに現在は学校の広報活動の一環として校外での実演展示を行い、多くの人を楽しませることができました。

■高専時代に最も力を入れたこと

大弥 亮友

高専に入学してから最も力を入れたのは部活動です。そもそも入学理由の決め手となったのも阿南高専の野球部の活躍でした。勉強もでき、部活動もしっかりと行えるという、恵まれた環境で学校生活を送れそうだと考え、高専に入学し、先輩方の活躍にあこがれ、越えてやろうという思いで、日々練習に取り組んできました。最後は満足のいくような結果とはなりませんでした。この経験を活かし、今後も精進致します。

■高専で良かった。

桑村 美妃

卒業を前にして私は本当に高専に入学して良かったと思っています。5年間を通じてじっくりモノづくりに向きあえたこと、唯一無二の親友に出会えたこと、とても濃い高専生活でした。年4回の試験に苦しんだことや、夜中までかかってレポートを書いたことすら、とても楽しかった思い出になりました。15歳〜20歳までの貴重な5年間を大好きな友と過ごせたことは一生の宝です。高専に入学して本当に良かった！

■学寮の環境委員長

丸山 賢人

4年生の夏から学寮の環境委員長に就任しました。コロナ禍ということもあり、多くのことに配慮し、活動に制限がかかることも少なくありませんでした。そこで、この期を利用して委員会の内側をよくすることにしました。委員同士のつながりを強くするために、雰囲気作りをし、福利厚生をより望ましい状態にするといった活動をしました。委員内の友人や後輩の手助けもあって、より良い委員会にできたと感じています。

■オーディオルーム

山下 尚人

赤レンガの建物の二階、私の全てがそこにある。重い扉を開けたその先で、私はいつも爆音を響かせた。魅せられた背中を、今度は魅せる側にと必死になった。私が部長を務めた一年間、何もできなかった。それでも、いつも楽しいと、ここが好きだと笑う仲間は何度も救われた。部長をやって良かったと思えた。楽しい場所をくれた先輩方、安田先生、共に笑った同級生、これからを担う後輩達、自分の在り方をくれたあの場所に、ありがとう。

贈る言葉

スタートです！

電気コース 5年担任 中村 雄一

ご卒業おめでとうございます。みなさんは本校・創造技術工学科に入学後、2年生から電気コースに配属になり電気電子工学の技術者になるべくスタートを切りました。専門の基礎知識からはじまり技術者として必要なスキルを身につけてきました。4月からはクラスの多くの人が企業で技術者として新たなスタートを切り実践に臨むこととなります。また、専攻科・大学でさらに専門知識を高める人も。みなさんが卒業した創造技術工学科の創造とは人の模倣でなく、新しいものを新たに造ることを意味しています。いままでにない新しいものを造り出すには多くの困難が待ち受けています。でも絶対大丈夫です（日本一になったチームに倣っていますが…）。みなさんはこの2年間コロナ禍での困難な状況にも我慢強く対峙し、見事に乗り切ってきました。技術者として困難な状況に面した時は高専で工学を学び始めたころのことを思い出してください。何かヒントを見つけられるかも。みなさんが技術者として成長し、企業・大学で活躍することを期待しています。



3年次の研修旅行



授業前の5E教室にて

5年生の言葉

■電気コース

1年担任 松尾俊寛、山田洋平、櫛田雅弘、谷中俊裕
 2年担任 園田昭彦 3年担任 藤原健志
 4年担任 香西貴典 5年担任 中村雄一

■私の5年と役員寮生

磯口 颯馬

高専にいる5年間を全て寮で生活してきた。その中でたくさんの事を学び、それと同時に頑張りたいと思える仕事に出会った。それが役員寮生である。他の一般寮生からの意見をもらいつつ良い寮生にしようとしていたが、コロナが流行してしまった。全てにおいて今までとは違う1年になったが、同時に一番成長することができた1年であったとも、今の私は感じているのである。

■努力・感謝・笑顔

江村 和也

部活動のソフトテニスに力を入れました。二人一組となって試合をするソフトテニスでは、一人一人の技術だけでなく二人のコンビネーションも大切です。この点がソフトテニスの難しいところであり、魅力的な部分です。部活動を大変だと感じることもありましたが、しかし現在は、最後まで続けてよかったと思っています。部活動を通して「努力、感謝、笑顔」の大切さを学びました。これからも胸に刻んで生活しようと思います。

■支えられてきた5年間

貝出 凌汰

阿南高専での5年間で様々なことを学び、多くの貴重な経験を得た。しかし、それは自分を支えていただいた人達のおかげだということを忘れてはならない。阿南高専の先生方をはじめ、友人や両親には感謝してもしきれない。特にここ1年間は進学のことなどで多くの迷惑をかけた。これまで関わってきた人達が今の自分を作っていることを忘れず、また新しい出会いも大切に、新天地でも頑張っていきたい。

■U-21発表会に向けて

鶴岡 蒼久

電気学会の主催する研究発表会に向けて、真空管の受信機を製作した。受信機は一発で動作したが、問題はここからで、いかに低ノイズ、高感度を実現するかがカギになる。部品を換えたり、回路を変えたり、ハンダ付けをしてオシロで波形を測定。その結果をフィードバックしてさらに回路を調整するという地道な変更を繰り返した。そして、3ヶ月がたったとき、ノイズ電圧が市販品の10分の1となり、みごと奨励賞を受賞できた。

■いろいろな経験

西村 祐彦

高専生活ではいろいろな経験をしましたが、その中でも他学年と関わることが多かったように感じます。寮での生活や部活動、球技大会にイノベーション実習等、年の上下関係なく共に作業できたことはとてもよい経験になりました。また卒業研究や実験では先生にもお世話になり、人に助けられた5年間でした。これからみんなは全国に散ってそれぞれ活躍すると思いますが、またいつか遊びたいです。

■今の自分と昔の自分

森内 風斗

阿南高専に入学する前の自分と卒業する自分を比べると今の自分が生き生きしていると思う。入学する前の自分は、学校生活にあまり期待をしておらず感情も乏しかっただろう。しかし、趣味を共有できる友達、自分をかわいがってくれた先輩、自分を頼ってくれる後輩に出会うことができたおかげで、学校に行くのが楽しくなった。灰色みただった中学時代とは違い色づいて見える生活を送れたのは阿南高専に入学したからだ。ありがとう。



3年次球技大会

贈る言葉

時間を大切に

情報コース 5年担任 吉田 晋

卒業おめでとうございます。新しい門出を前に期待と不安があることでしょう。新型コロナウイルスの影響で、みなさんが阿南高専に入学した時には想像できなかったような社会の変化となりました。これから進学、就職となりますが、オンライン授業や、リモートワークは続くでしょう。これまで以上に情報処理技術の学びを深め、情報化社会のニーズに応じてくれることを期待します。仕事をして自分の力で社会の中で生きていくということは簡単なことではありません。周りの人達から仕事や勉強の仕方を学びましょう。特にリモートワークでは、自分の時間をコントロールする自己管理が求められます。卒業していくみなさんに「時間を大切に」という言葉を贈りたいと思います。社会の変化はさらに加速していくことでしょう。時間を大切に、自分を成長させていきましょう。皆さんのこれからの成長と活躍に期待しています。



3年次蒼阿祭

5年生の言葉

■情報コース

1年担任 松尾俊寛、山田洋平、櫛田雅弘、谷中俊裕
 2年担任 田上隆徳 3年担任 太田健吾
 4年担任 平山基 5年担任 吉田晋

■一射に感謝

金山星輝

高専時代に最も力を入れたことは部活動です。私は弓道に所属し日々部員とともに練習に取り組みました。私は高専に入学して初めて弓道を始めました。先輩の指導を仰ぎ自己分析を行い、時には大きな壁にぶつかりもしましたが、副部長に任命され部員とともに目標であった全国高専大会に出場することができました。私は弓道部でたくさんの経験をし、たくさんの思い出をつくることができました。後輩のみなさんも自分が夢になれることを見つけてください。

■新しいこと

川田隼己

入学してから様々なことにチャレンジしてきた。中学までは野球をしていたが、高専ではソフトボール部に入りキャプテンを務めた。三年でのコーオペ教育にてアプリ開発や社会でのルールなど挑戦してきたこと全てが意味のあるものだったと今になって感じる。自分で考え行動し挑戦してきたことはこの先社会にて必ず役に立つと思うし、これからも心がけていくつもりである。新たなものを生み出すエンジニアとしてこれからも頑張っていきたい。

■トリガーは編入勉強

栗原悠

学生生活において力を入れたこと。部活、勉強、バイト等々人それぞれあると思う。ただ私自身、そのいずれかにあてはまるかどうかと問われると、自信を持って答えられるものは一つもなかった、4年生までは。だが、どうだろう。進学を試み勉

強に取り組み始めて、そこで「数学」という学問の奥深さを知ったのだ。勉強とは本来、単位を取るためのものではなく、学びを力としていくものであると、今ならそう思える。

■新しい青春のかたち

合田怜央

青春といえば、汗を流してスポーツをするイメージがあります。自分はそうではありませんでした。1年生から軽音楽部に所属し、キラキラした先輩に憧れてドラムの練習をがんばっていました。3年生になり、実力がつき始めた頃に軽音楽の大会に自分たちで応募しました。嬉しいことに審査員特別賞をいただきました。自分たちが作った音楽を評価してもらった良い経験になりました。音楽を楽しむ熱い青春でした。

■高専ロボコンについて

島田豊蔵

高専に入学してから現在に至るまで、ロボット研究部にて高専ロボコンに出場するためのロボット開発に力を入れてきました。私は主に制御を担当しており、どのようなアルゴリズムで、どんなセンサを使うと他高専に勝てるのかということなどを常に考えながら生活していました。今年度で阿南高専を卒業し進学しますが、進学先でもロボコンを続けるつもりです。これまでの経験は無駄にならず、さらに良いものになると考えています。

■短い5年

高井航佑

高専での生活も残りわずかとなりました。私にとっては「もう卒業か？」と思う程、あっという間の5年でした。大切な友人ができ、この高専にはたくさんの思い出が詰まっています。入学当初は先輩が怖かったり、授業や部活が大変だったりしましたが、今となっては良い思い出です。そして一番感謝したいのは、高専が自分の視野を広くしてくれたことです。高専で培ったことを活かして、卒業後も成長し続けていきます。



2年 現地見学

贈る言葉

財産

建設コース 5年担任 加藤 研二

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは、保護者の皆様をはじめ、これまで指導いただいたみなさんへの感謝の気持ちを忘れず、これからの社会を頑張っていたいだきたいと思います。しかしながら、新型コロナウイルスの影響も続いているとともに、新たな生活に様々な不安があるかと思えます。また、新しい生活では学生時代には体験したことがないような問題もでてくるかと思えます。こんな時は、皆さんがいままで積み上げてきた体験・経験が活かされるかと思えます。

また、これからの人生の中で、人は大きな財産となります。様々な人と会うことで、今までにない世界を見つけるきっかけになるかもしれないですし、皆さんを成長させてくれるかもしれません。そのために、できる限りいろいろな人と知り合う機会をつくってください。オンラインなどで知り合う機会が増えていきますので、いろいろなことに興味を持って活動いただければと思います。これからの皆さん成長は行動次第です。皆さんのご活躍を期待しています。



2021 卒アル

5年生の言葉

■建設コース

1年担任 松尾俊寛、山田洋平、櫛田雅弘、谷中俊裕
 2年担任 今田浩之 3年担任 川上周司
 4年担任 堀井克章 5年担任 加藤研二

■テスト勉強の意義

井坂涼楓

あと少しで卒業ですが、5年間を振り返ると、テスト勉強が最も過酷で印象的だったように思います。しかし、そのおかげもあり、就職試験の勉強にも励むことができております。また、テスト勉強を通して、クラスメイトや先輩、後輩とつながりが増え、自分の友好関係がとても広がりました。一般的に、テスト勉強は辛いですが、視点を変えることで、知識を入れる以外の意義が見つかりました。

■全力を注いだ部活動

上原明日香

阿南高専に入ってから弓道を始めました。先輩に教わり、自分自身で考え、自分なりの射型を確立し、3年間頑張りました。毎日、どうしたら射型が上達するのかを考え、弓道のために学校に来ている気持ちでした。そのおかげで、県大会や全国高専大会など多くの大会で賞をもらうことができました。弓道に入って、頑張る大切さを知り、努力をし続けていれば、その努力が報われることを実感しました。

■友達

太田朱音

入学した当初、同じ中学校から高専に来た人がおらず、友達が一人もいませんでした。ですが、この5年間で、学校生活や寮生活、部活動を通して大切な友達ができました。5年間ずっと仲良くしてこれたわけではないですが、いろいろな出来事があって、今仲良くできているので良かったと感じています。就職や進学などで離れてしましますが、定期的に連絡を取り合ってずっと友達でいられたらいいな。

■高専時代に最も力を入れたこと 梯 翔伍

最も力を入れたのは、勉強だ。高専では各コース専門分野で多くのことを学ぶことができる。就職後、重要となる資格や知識を習得し、社会に大きく貢献できるような人材となるためだ。その中で私は、クラスの仲間たちと互いに競い合い、充実した学校生活を過ごすことができた。クラスの中では何度か一番になることができ、成績優秀者にもなることができた。これからも競い合える仲間と共に努力を続けたい。

■阿南高専に伝統を

多田優斗

高専1年生から4年間、学生会の環境委員会に所属しておりました。環境委員会には1年に一度大きな仕事があります。それは門松の製作です。先輩の思いつきから始まりましたが、私はこれを伝統にしたいと考え、今まで3回製作を行いました。毎年変化を加えながら製作しており、完成した門松は冬休みに正門の前に設置しています。先輩からつないだ伝統をこれから後輩が受け継いでいってくれると心から期待しています。

■大学進学を目指して

春木勇二

1年の頃から大学への進学を考えていた。そのため、勉強には力を入れてきた。テスト前には朝まで勉強することも少なくはなかった。テストは年に4回あり、5年になるまでのすべてのテストで全力を出してきた。努力した結果、自分が志望していた大学で待生枠として合格を頂くことができた。自分でもここまでやれるとは思っていなかった。1年の頃からあきらめず勉強に力を入れてきて本当によかったと思う。



2021年 Making of 卒アル

贈る言葉

壁

化学コース 5年担任 吉田 岳人

化学コース4期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが社会に出て仕事を始めると、早ければ20代の後半、遅くとも40代の初めまでに、きっと大きな壁に遭遇するでしょう。この壁は、真面目に、熱心に、誠意をもって仕事に臨んでいる人にとって、より高く・分厚く・堅い、という大変やっかいな性質を持っています。工学・技術、経営、あるいは人事上のことが、今はわかりません。在学中は勉強と研究に励み、さらに実社会の若手技術者として研鑽を積むのは、この壁を突破するためともいえます。持ち前の技術力と人間力を結集して、この壁を超えたとき、以前には想像もできなかった新たな地平を見ることができるようです。今よりさらに、大きく逞しくなった皆さんに、歴戦の技術者に成長した皆さんに、再会できる日を楽しみにしています。



2019年3Z蒼阿祭準備



2018年2Z体育大会

5年生の言葉

■化学コース

1年担任 松尾俊寛、山田洋平、櫛田雅弘、谷中俊裕
 2年担任 新井 修 3年担任 大田直友
 4年担任 大田直友 5年担任 吉田 岳人

■編入で学んだこと

西城尚輝

編入学試験で第一志望の神戸大学に合格しました。3年生から目標をかかげ、受験まで必死に取り組んだので最も力を入れたと言えます。その経験から思うことは、どこに行っても各々する勉強があるということです。進学も就職も自分の目標をしっかり持ってそのための勉強を惜しむべきでないと考えます。これらのことから後輩に伝えたいことは、勉強は知識を得るためだけではなく、目標を達成するための手段であるということです。

■時は金なり

田中康四郎

入学当初はあまりなじめなかった高専生活。友達もできるか不安だったけど今はそんな心配もしていない。とても良いクラスに出会えた。4年間という時は私達が実感できるほど形あるものになっていった。2年生の時には実験の時にしか話したことがなかった子でも今は冗談が言い合えるほどである。卒業後、私はクラスの子と会うことがなくなると思うが、阿南高専での思い出は一生ものです。「定期会開きましょう!」

■忘れることのないNZ

板東 梨乃

高専で語学留学という貴重な体験をさせていただきました。海外への好奇心のみで、友人と共にNZ（ニュージーランド）へ行きました。現地では、NZの豊かな自然の中で語学を学び、また、NZの方々の温かさに触れることができました。初めての海外で不安もありましたが、NZでしか味わえない体験をし、より一層語学への興味を持ちました。高専卒業後も、語学勉強を続け、日本だけでなく、世界でも活躍できる技術者を目指します。

■5年間って一瞬

森 ひなた

寮生活での大量の減点、行き来していた寮の部屋が今ではとてもつかいにくい。2年でのクラス分け、人数がなくて、みんな優しくてユーモアがあって5年生の今、化学コースで良かったと心から思います。週1の実験、何気ない毎日の授業、私はクラスの雰囲気やノリが大好きで学校に行くのがとても楽しかったです。5年間長かったようで短く、思い出がぎゅっとつまった高専生活でした。5Zのみんなに会える日がすぐきますように。

■高専を卒業しても

湯浅 智衣

高専で出会えた人たちは卒業しても交流が続くという自信があり、最近はそのことがとても嬉しく思います。長い5年間で、寮での厳しい生活と一緒に耐えたことや一緒に就活を頑張ったことが思い出され、高専でしか味わえなかった思い出がかけがえのないものだと感じます。卒業まで区切りはつきませんが、就職や進学した後また会えるので、今を大切にしつつも、未来でのことを楽しみにして過ごしていきたいです。

■私の光

吉田 早希

5年間も通うなんて長くて面倒だ。そう考えていた卒業後の自分にもの申したい。阿南高専では、ありったけの感動や喜び、楽しさを経験した。環境に恵まれ、友人に恵まれ、先生方にも恵まれた。これ以上の幸せはこの先あるのだろうか。5年間、この期間は長いようで長くない。短くもない。この5年間で私は大きく変わり、間違いなくかけがえのない時間となった。できることなら、卒業なんてしたくない。

贈る言葉

学び続ける

専攻科長 小西 智也

専攻科のご修了、おめでとうございます。本科1年で入学して専攻科2年で修了するまでじつに7年間、阿南高専で学び続けてきたこととなります。皆さんがこれまで学んできたことはエンジニアとしての知識や技術だけではなく、発想力、実行力、仲間と協力する力、自ら学ぶ力など「人間力」も修練してきました。社会は、新型コロナウイルスの影響に加え、様々な課題や社会問題が待ち受けていると思いますが、解決に導いてくれるのは人間力です。しかし、皆さんを取り巻く世の中の情勢もこれから大きく変化し続けます。それに対応するため、学び続け、人間力を磨き続けてください。皆さんの今後の大いなる活躍を期待しています。

人に寄り添う技術の創造

2AE 担任 岡本 浩行

専攻科電気電子情報コース、ご修了おめでとうございます。皆さんは専攻科において専門技術だけでなく工学分野の幅広い知識や技術者としての責任感や倫理観を身に付けました。皆さんの専攻科での学生生活は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、いろいろな制限を受けたものとなりました。コロナ禍における分断を経験する中で、人々の生活において人とのつながりの大切さに気付くことができたのではないのでしょうか？電気電子情報コースで学んだ技術や技術者としての心得を活用して、利便性や効率化を追求するだけでなく、人に寄り添い、人と人をつなぐ技術を創造する技術者としての活躍を期待しています。

一生勉強

2AM・2AC・2AZ 担任 長田 健吾

専攻科修了、おめでとうございます。大半の方が学生生活を終え、4月から企業に入り社会人としての一步を踏み出すこととなります。入社当初は、これまでの学生生活で身に付けた知識・技術を活かせる場面が多くあると思います。しかし、年の流れとともに世の中で必要となるものは変化し、それに応じて技術や考え方は新たなものに置き換わります。企業としても個人としてもその変化に対応するために、知識の習得と技術の開発・転換に取り組む必要があります。勉強は、企業に入ってからが本番であり、情報を自ら収集・精査し、業務の向上・改革に努めなければいけません。体調には十分に気を付けて、常に勉強し成長できる技術者となれるように頑張ってください。



専攻科インターンシップ報告会

5年生の言葉

■視点

2AM 谷 敦貴

私が専攻科に進学し、有益であったと思うことの一つに、本科在学中よりもさまざまな分野を幅広く学べたことが挙げられます。それにより多角的な視点が身についたと実感しています。幅広い分野を浅くでも学ぶことにより研究する時や実験・実習を行う時でも見る視点が広くなり、より有意義な学びを得られ、よりよい結果が出せると考えます。たとえば、私は長期インターンシップに行ったときにそれを実感することができました。インターンシップ先でグラフェンに関する研究をする際に、機器分析で得たラマン分光分析の知識などが役に立ち、センサ感度の向上を実現することが出来ました。

最後に、技術者になる者として有意義な7年間を過ごすことが出来た阿南高専に、講義を行ってくださった先生方に、共に助け合った友人達に感謝します。

■高専でもらったもの

2AE 橋本日菜子

無事に卒業を迎えることができ、高専生活を支えてくれたすべての人々に感謝の気持ちでいっぱいです。高専では、先生方や友人から様々なチャンスももらい、人として大きく成長できたなと感じます。一緒に学生会や役員寮生をやるかと誘ってくれたり、留学や交流イベントを勧めてくれたり、そういう人たちのおかげで、自分では想像もしなかった経験ができました。また、わからないところを詳しく教えてくれたり、親身に相談に乗ってくれたり、たくさんの方の優しさや思いやりに恵まれました。卒業後は、困っている人をものづくりで助ける仕事をします。私がこれまでもらってきたものを、少しずついろんな人に返していきたいと思っています。

■成長し続けた7年

2AE 山本 晃大

私の本科、専攻科での7年間は本当にあつという間でした。部活動や研究活動、多くのシステム開発、長期インターンシップなど様々な経験をしましたが、その全てで壁にぶつかり、その度に周りにいる仲間や後輩、先生方の支えで乗り越えることができました。特に、研究活動では多くの問題に直面し、失敗の連続でしたが、指導教員が親身に支えてくださったおかげで乗り切ることができました。これらの経験から、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を向上することができ、大きく成長することができました。これからは高専生活で培った力を生かして、社会に貢献し続ける技術者となるべく、日々精進して参ります。最後に、この7年間でお世話になった全ての方々に感謝いたします。

■2年間の成果

2AZ 山内 泰輝

振り返ってみれば、7年という年月はとても早く感じました。その中で専攻科の2年間は、私にとって非常に内容の濃い期間でした。専攻科ではインターンシップ期間があり、いくつかの企業の実習に参加することができました。実際に企業での業務を体験できる、現場の生の声が聞ける、企業研究ができるなど、私にとって利点が多かったです。実習では県外の高専生と交流する機会もあり、刺激を受けつつ、楽しい期間となりました。結果的に私は、3週間の長期インターンシップに参加させていただいた企業に内定をいただきました。「専攻科への進学」を通して将来の進路についてじっくり考えることができました。

これまでお世話になりました。ありがとうございました。

別れのあいさつ

ものづくり ひとづくり …づくり

私はこの3月で定年退職を迎えますが、37年間お世話になった本校では、様々な用具をつくって色々なコンクリートを生み出し、色々な工作を考案して様々なイベントに参加し、野球部や学生会との関わり、主任や寮務・学生主事を務めることなどで有形無形のものづくりが沢山できました。写真は私にとって最後の卒研生との一コマですが、廃棄資源などでコンクリートをつくる際に「何で？」と口にする実験結果がいくつもありません。「何で？」は私の幼少期からの口癖で、ものづくりの度に出てきます。私にとっては、成功するとそれで終わりですが「何で？」は次へと繋がります。一度上手くいくと次は失敗できないという重圧を感じることから成功体験を嫌う人にとっても、失敗して良いと思えることは大切です。〇〇コンテストや〇〇金などに関わるものづくりだけでなく、制約のない自由なものづくりができ、失敗体験を積める本校は素晴らしい人間形成の場だと思います。

建設コース 堀井 克章



感謝

建設コース 笹田 修司



昭和59年4月、大学の修士課程修了後、本校土木工学科に文部教官助手として着任後、昭和、平成、令和へと時が経ち、とうとう今春3月末に定年退職することになりました。初出勤は、事前連絡があった日時に校門までは到着したものの、どの部屋に行けば良いの迷ってしまいました。すると玄関横の窓に人影が見えました。当時の人事係長が待っていてくださったのです。何て温かい学校だろうかと思ったのが最初の思い出です。赴任直後は本当に何からすれば良いのかわからない状態でしたが、先輩の先生や事務職員の方々に教えてもらいながら何とか教員らしくなることができました。教員生活にある程度慣れてきてからも難題にぶつかるたびに周りの教職員の方々に助けていただきました。

やり残したこともあります。私自身が出来ることはやりきった気持ちです。私が行くとも、阿南高専には優秀な教職員や学生がおられますから大丈夫です。

最後に、皆様の健康と発展を祈願いたしまして最後の挨拶といたします。ありがとうございました。

縁尋機妙多逢聖因

化学コース 一 森 勇人

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

私は高専に入って技術職員の方に、旋盤、フライス、はんだ付け等の技術を教えていただきました。事務の方々には、阿南のことを何も知らない私にいろいろなことを手伝っていただきました。学生さんには、授業、クラブ活動、卒業研究等々でお世話になりました。高専卒業生が企業から高く評価されている理由がわかり、私は高専卒業後生きていく道が見つかりました。教員の方々には、一般教養体育、化学、専門化学コースに移動するたびにお世話になりました。様々な体験をすることができたのは先生方のおかげです。お世話になりっぱなしで、皆様方には本当に感謝しております。

私は高専を卒業しますが、4月以降も大好きな阿南で仕事を続けることになりました。阿南市の名産でありながら今ではすっかり忘れ去られた竹林を地元の方々と資源化します。高専で学んだ技術を生かして、地元の方々と共に生きていきたいと思っています。



渡されたバトンを渡すために

建設コース 川上 周司

この度、阿南高専を退職し、母校である長岡高専に異動することになりました。ちょうど20年前の今頃、私は長岡高専の4年生でした。圧倒的な知識を持つ教員を前に自分の無力さを痛感し、学校を辞めようと暗闇を彷徨っていた私に、遺伝子工学を駆使し、未知なる環境微生物を探索するという、その当時の土木工学では考えもよらないような研究を教えてくださいました。恩師に出会ったのもこの頃でした。あれほど嫌だった学校生活が一変し、毎日の研究生活が楽しくあつという間で、あの頃の記憶は今も鮮明に脳裏に焼き付いています。それと同時に、19、20歳くらいの若者の人生を180度変えることができる高専教員に憧れ、教員を目指したのもこの時期でした。そして、その私の夢を叶えてくれたのが、他にもない、阿南高専です。博士課程を卒業後、10個以上の大学、研究所に応募しましたが全て落選。唯一、なんのゆかりもない徳島でしたが、皆様に暖かく迎え入れていただいたこと、感謝してもし尽くせません。阿南に来てからはバレー部という大きな財産もできました。試行錯誤の中で自分を追い込み目標を達成する部活動は、卒業研究と何ら変わらない教育効果を持っており、それを担う教員のコーチング力の必要性に気付かされました。私は阿南に来て、確実に自身の教育力を高めることができましたと実感しております。これもひとえに教職員、学生の皆様のおかげと思っています。本当にありがとうございました。私に高専教員の魅力を教えてくれた恩師は昨年度、長岡高専を退職し、バトンは私に渡されました。私の次の夢は「私」のような高専教員を輩出すること。阿南で頂いたご恩も後輩に引き継いでいきます。11年間、本当にお世話になりました。



令和3年12月18日(土)～19日(日)、ユーブラザウたづ(香川県坂出市)にて第43回四国地区高等専門学校総合文化祭(主管香川高専高松キャンパス)が開催され、本校から吹奏楽部、軽音楽部、美術同好会、写真部、茶道部、書道部、棋道部、ストリートダンス同好会、学生会の学生62名が参加し、日頃の取り組みの成果を披露しました。

審査・表彰のある部門においては次のとおり優秀な成績を収めました。

昨年度はコロナ禍のため開催中止、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として部門別に日帰りでの開催でしたが、2年ぶりの開催ということもあり、参加した学生は貴重な発表の機会をそれぞれに味わい楽しみました。

- 吹奏楽部門 優良賞 吹奏楽部
- 絵画部門 優秀賞 1-1 今井美嘉
佳作 3C 美馬好大 4C 加藤桃香
- 写真部門 佳作 5Z 鎌田郁矢 5I 高橋直樹
- 書道部門 優秀賞 2AE 橋本日菜子
佳作 5M 入江菜都
- 英語スピーチコンテスト部門
第1位 5Z 森 ひなた
第2位 4M 山本 泰生

※スピーチコンテストは別日(11月20日)に開催



ストリートダンス



吹奏楽



書道



絵画



将棋

英語スピーチコンテスト

総合文化祭における英語スピーチコンテストは、二年連続で動画(録画)による審査となりました。テーマは自由で、スライドを駆使して行う5分間のプレゼンテーションの出来によって審査されます。本校から出場した二名の学生は、四国地区プレゼンテーション・シングル部門で1位、2位となり、全国大会に出場しました。以下、出場した二名の言葉です。



化学コース5年 森 ひなた

私は英語など言語の学習がとても好きです。今回、四国総合文化祭で英語のスピーチをし、賞をいただけてとても嬉しく思います。今まで、高専1、2年で2度参加しましたが、あまり思うようにな

かず今年が挑戦できる最後の年だったので参加を決めました。従来とは異なる方法で、スピーチの動画を撮影し、審査を受ける形でしたが今までとは別の難しさがありました。一緒に参加をし、心強い仲間になってくれた山本くん、原稿の添削や、スピーチの練習にお付き合いいただいた谷中先生、クリス先生。動画の撮影日はなかなか上手いかわず何度も何度も撮り直しをしたにも関わらず、最後まで熱心に明るくご指導くださいました。本当にありがとうございました。すてきな思い出、また自信にもなりました!

話せるとかっこよくて、便利な英語をこれから楽しく学習したいです。

みなさんも何かに挑戦できる機会を逃さないように何事にもチャレンジしてみてください!



機械コース4年 山本 泰生

前回のコンテストの際、クリス先生より出場をご提案いただいたのですが、その時は躊躇してしまい、参加を決めきれませんでした。そのため今年こそはと応募しました。出場が決定するとすぐに原稿を考え始め

ました。自分なりに英語に翻訳して考えた文章を、谷中先生に添削してもらいました。夜遅くまで手伝っていただいたおかげで、大変良い内容にすることができています。内容が決定するとすぐに練習を始めました。今まで英語でスピーチという世界に踏み込んだことがなかったため、クリス先生との練習が不安でしたが、先生はいつも親切で、練習を重ねるにつれ毎回の練習も楽しみになっていきました。発音練習に力を入れ、今までのカタカナ英語から、よりネイティブに近い発音になるように、何度も何度も練習しました。練習の間には、アメリカの文化や政治などの雑談で盛り上がり、時間があっという間に過ぎていきました。スピーチコンテストを通して、自分の英語力が目に見えて上がっていると実感でき、良い経験ができたと感じています。これからも時間を作ってクリス先生に会いに行きたいです。今回、出場するにあたってご支援くださった谷中先生とクリス先生には大変感謝しています。お忙しい中、ありがとうございました。

今回、高専祭執行委員長を務めました中川彰人です。例年は「蒼阿祭」として開催していましたが、コロナ禍での開催にあたり、形式を大きく変更したことから、差別化を図るため「高専祭」という名称にしました。例年とは違い、模擬店なし・入場規制あり・イベントの三密回避などの制約が加わり、規模縮小は免れない状況でした。そのため、一時は開催を断念することも検討しましたが、本高専祭のテーマでもあるように「今できる楽しみ方で」最大限に盛り上げたいと思い、開催を決定しました。野外でのカラオケ大会やeスポーツ大会などの、コロナ禍でも楽しめるイベントを考案し、大いに盛り上がりました。

今回の高専祭を成功できたのは、僕を支えてくれた高専祭執行部の仲間と、我々のアイデアを実現させるべくご対応いただいた先生方のおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

現在、オミクロン株の感染が拡大しています。コロナウイルスの影響が完全に消えない限り、来年度の高専祭もこのような規制がかかった中での開催になるかもしれませんが、より盛り上がる催し物してくれるだろうと、来年度の執行部には期待しています。



スマブラ大会



カラオケ大会

グローバル推進室便り

阿南工業高等専門学校 国際交流室は令和3年10月13日付で「グローバル推進室」に名称変更しました。グローバル推進室は、本校の特色を活かし、グローバル戦略の企画立案を行い、国際教育研究を展開推進するとともに、本校及び海外の教育・研究機関・地域社会等との連携により、国際的視野を持ったグローバルに活躍するエンジニアを育成することを目的としています。令和3年度後期に実施したグローバル推進室のイベントや留学生の取り組みの一例をご紹介します。

秋の伊島ツアー

令和3年10月23日、グローバル推進室主催で、四国最東端の離島である「伊島」への秋の日帰り遠足を実施し、留学生8人と日本人在校生4人が参加しました。阿南市の離島である伊島は希少な植物が残された自然豊かな島として知られています。留学生と日本人在校生は伊島ツアーを通して交流を深めました。



伊島旅行

日本語スピーチコンテスト

令和3年12月5日(日)、阿南市富岡公民館において阿南市国際交流協会主催の「日本語スピーチコンテスト」が開かれ、本校からウォンさん(マレーシア)、アンさん(マレーシア)、アルカンさん(インドネシア)が出演しスピーチを行いました。「日本語の面白い難しさ」でスピーチを行なったウォンさんがみごと優勝しました。

特別活動での留学生の紹介

阿南高専には、現在8名の留学生(マレーシア4名、モンゴル2名、インドネシア2名)が在籍しています。令和3年12月8日(水)、1年生の特別活動(LHR)の時間に、8人の留学生による紹介プレゼンテーションを行いました。1年生からは、「他国の文化が知れて興味深かった」などの感想がありました。



日本語スピーチコンテスト



1年生の特別活動での様子

他にも、グローバル推進室では、国際力を育むための講座や英会話サロンなどを定期的で開催しています。在校生のみなさんご参加をお待ちしています。

キャリア支援室便り

キャリア支援室の活動⇔卒業生との繋がり⇔進路の多様化

キャリア支援室 副室長(進学担当) 園田 昭彦

キャリア支援室では学生の就職・進学支援を行っています。高専の就職状況は、コロナ禍でもお陰様でほとんどの学生が希望通りに就職できています。また、ここ数年、大学や専攻科への進学を選択する学生も増えてきました。低学年でも就職だけでなく、進学を考えている学生が多数います。そのニーズに応えるべく、キャリア支援室では進学に関する資料提供や進学補講、大学編入学説明会を実施しています。

文部科学省の統計によれば、令和元年度の高等学校の卒業生は約100万人である一方、高専の卒業生はたったの1万人です。高等学校に比べて圧倒的に少数の高専ですが、少数ゆえに教員と卒業生およびその関係者の繋がりは深く、卒業後も様々な形で高専運営をご支援いただいています。例えば、就職・進学の説明会の際には、多くのOB・OGが登壇し、現場の生の声を学生に届けてくださっています。他にも、親族に高専を進路として勧めてくださることもあるようです。阿南高専にもOB・OGを親族に持つ学生が多く在籍しています。

世間から見るとマイナーな教育機関ですが、なぜ興味を持ってくれる中学生が一定数いるのでしょうか。その理由の一つとして、高専の「進路の幅広さ」が挙げられます。高校はおおよそ専門学校と普通科高校に分けられ、前者は就職に、後者は進学に特化しています。しかし、就職と進学の両方ができる高校は多くはありません。その点、高専は就職に非常に強いことはもちろん、進学に関しても普通科高校に決して見劣りしません。本学でも、就職から進路を切り替え、大学や専攻科に進学する学生が数多くいます。もう高専は「就職に強い」だけではなくなっているのです。しかし、「進学の幅広さ」という意味では、まだまだ発展途上にあります。

本科4年次になる頃、多くの学生は進路に対して意識を始めます。学生がどのように就職先や進学先を決めるかと言えば、当然ながら教員や保護者の意見を参考にすることもありますが、それ以上に先輩からの生の声を大切にします。前述のように、企業・大学を問わず、本学あるいは他高専のOB・OGが所属する組織であれば、多くの現場の声を聞くことができます。学生たちはその中から、自分に適する進路先を考えます。特に、就職に関しては沢山のOB・OGが社会で活躍されていますので、豊富な情報があり、学生にとって大変有意義なものになっています。一方で、進学に関しては隣の大学や技術科学大学へ進学する実績は多くあるものの、それ以外の大学への進学実績は少ない(あるいは、ない)ため、話を聞ける機会もそれに比例して少なくなります。学生にとっては、いろんな進路先の情報を耳にすることは大切であり、キャリア支援室の今後の課題となります。

しかしながら、ここ数年で学生の進学先も多様化しています。大阪大学や九州大学、神戸大学、千葉大学などに進学する学生も増えて、卒業生から大学生活について生の声を聞く機会が増えています。今後は東京大学や京都大学、あるいは海外の大学などに進学する学生が出てきて、在學生に沢山の情報を還元してもらえると幸いです。

教員にとって本学の卒業生が社会で活躍していることを知ると、教員という仕事のやりがいを感じる事が出来ます。今の在學生も卒業後には社会人として中核を担う存在になっていることなのでしょう。願わくば成長した卒業生が卒業生としてだけでなく、教員として本学を支えてくれる立場となってくれることを心より期待しています。

キャリア支援室として、さらなる「進路の幅広さ」を目指し、卒業生と在學生が深く繋がる機会を設けられるように、活動を続けたいと思います。

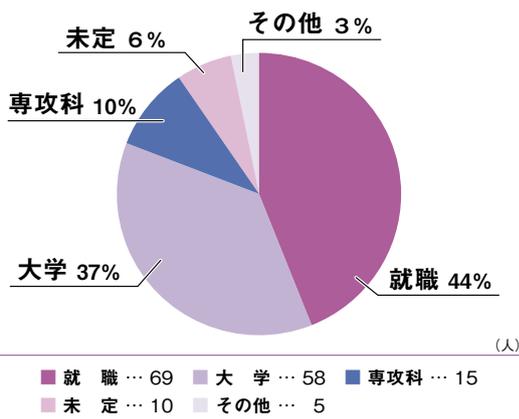


豊橋技術科学大学編入学説明会

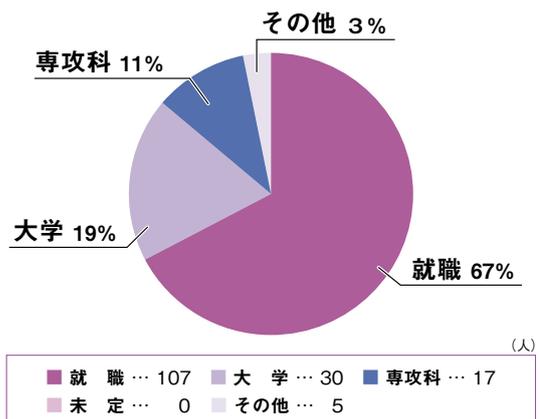


キャリア支援室資料

本科2年生進路調査



本科5年生進路先



各コース進路状況

令和3年度進学先

機械コース：阿南高専専攻科、千葉大学、徳島大学、豊橋技術科学大学
電気コース：阿南高専専攻科、九州大学、東京農工大学、徳島大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学
情報コース：阿南高専専攻科、徳島大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学
建設コース：阿南高専専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、徳島大学
化学コース：阿南高専専攻科、大阪大学、岡山大学、九州大学、神戸大学
専攻科：徳島大学大学院

令和3年度就職先

機械コース：県内 大塚製薬(株)、大塚テクノ(株)、四国日立(株)、大鵬薬品工業(株)、東邦機械工業(株)、徳島大学、日亜化学工業(株)
県外 (株)泉製作所、(株)イズミフードマシナリ、ENEOS(株)、大阪ガス(株)、川重マリンエンジニアリング(株)、(株)クレオ、(株)小松製作所、サントリーブロダクツ(株)、四国電力、(株)ジャパンコミュニケーション、ダイキン工業(株)、大研医器(株)、東亜石油(株)、(-財)日本品質保証機構、パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社、P&G(株)、(株)日立ハイテクフィールドイング、富士フィルムメディカル(株)、(株)プレジール、(株)明治、山崎製パン(株)、山本光学(株)、ユニチカ(株)

電気コース：県内 王子ネピア(株)、シオノギファーマ(株)、大鵬薬品工業(株)
県外 アマゾン・ジャパン合同会社、出光興産(株)、(株)NTTデータフロンティア、(株)NTTファシリティーズ関西、花王(株)、四国電力(株)、島津プレジジョンテクノロジー(株)、SUBARUテクノ(株)、ダイキンエアテクノ(株)、(株)デンロコーポレーション、東京電力パワーグリッド(株)、東芝プラントシステム(株)、成田空港給油設備(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、フジテック(株)、メタウォーター(株)

情報コース：県内 (株)NDK、(株)レーザーシステム
県外 アスクル、アステック(株)、ATEC(株)、NECソリューションイノベータ(株)、(株)キーマネジメントソリューションズ、木村情報技術(株)、サントリーブロダクツ(株)、四国電力(株)、(株)ジャパンコミュニケーション、(株)ソフトサービス、ダイキン工業(株)、テルモ(株)、日本たばこ産業(株)、(株)FIXER、(株)富士通エフサス、(株)メンバーズ、モラブ阪神工業(株)

建設コース：県内 エスシー企画(株)、(株)スバル設計、(株)はなおか、(株)誉建設
県外 鹿島クレス(株)、(株)鴻池組、国土交通省四国地方整備局、白谷工房、玉野総合コンサルタント(株)、(有)ナニワ建創装工業、西日本高速道路(株)、西日本高速道路エンジニアリング関西(株)、原田建設(株)、(独)水資源機構、三菱地所コミュニティ(株)、(株)四電技術コンサルタント

化学コース：県内 大塚製薬(株)、(株)大塚製薬工場、西部日警(株)、大鵬薬品工業(株)、東亜合成(株)
県外 出光興産(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、住友化学(株)、DIC(株)、日本たばこ産業(株)、三菱ガス化学(株)、森永乳業(株)神戸工場、ユニチカ(株)

専攻科：県内 四国化工機(株)、日亜化学工業(株)
県外 オークマ(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)ジャパンコミュニケーション、住友化学(株)、(株)ソフトサービス、(株)ダイセル、(株)ダンクソフト、東亜合成(株)、日工(株)、(株)日立ハイテクソリューションズ、ファナック(株)、富士ソフト(株)、(株)メイテックフィルダーズ、(株)メンバーズ

学生の活躍

▶ 人権啓発ポスター最優秀、阿南市人権フェスティバルにて表彰式

令和3年12月5日(日)、阿南市人権フェスティバルが阿南市文化会館(夢ホール)にて開催され、人権啓発ポスター最優秀を受賞した森上紗英さん(1年)が表彰式に出席しました。人権啓発ポスターは阿南市人権教育協議会で取り組んでいる人権啓発活動の一環で、小学校、中学校、高校高専、支援学校高等部、等の部門があり、森上さんの作品は全部門を通しての最優秀でした。今後、様々な場面、グッズ等でこのポスターが使用されることとなります。

▶ 全国高校eスポーツ選手権決勝大会出場、第3位

令和3年12月25日(土)、LFS池袋 esports Areaで開催された第4回全国高校eスポーツ選手権ロケットリーグ部門決勝大会に、本校eスポーツ研究会所属の三選手(3I高砂晃太、3I高木慎一郎、3M多田圭利)で構成されたチーム、Kamase Dogsが出場し、第3位となりました。

今回出場したKamase Dogsは三代目、初代は第1回の決勝大会に出場しており、3年ぶりの決勝大会進出でした。

試合後のインタビューで選手たちは「準決勝で負けましたが、ここまで来ることができ完全燃焼しました」「これからは後輩を指導します」と話していました。

▶ 『QUICKSILVER』からのサポート決定!!

鳥潟一太(機械コース・2年)さんが、世界的に有名なサーフブランド『QUICKSILVER』からサポートを受けることが決定しました。鳥潟一太さんは、日本サーフィン連盟(NSA)のSHORTBOARDジュニアカテゴリーのランキングにおいて、2位にランクされております(2022年1月31日時点)。トップサーファーに仲間入りし、これから益々の活躍を期待しています。

▶ 皇后杯 第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会徳島県代表チームのメンバーに本校陸上競技部所属の黒田 凜さんが選出!

令和3年12月5日(日)に徳島県鳴門総合運動公園第2陸上競技場で行われた第6回徳島中長距離記録会 兼 第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の徳島県代表選手選考 女子3000m A組に、黒田 凜(3年)さんが出場しました。ここで、自己ベストを約26秒更新する好記録で1位となり[記録 9'57"98(自己新)]、徳島県代表選手に選出されました。令和4年1月16日(日)に、たけびしスタジアム京都(西京極陸上競技場)付設の駅伝コース(9区間 42.195km)で行われた本戦では、補欠とはなりましたが、現地で徳島代表メンバーの一人としての役割を果たしました。また、全国からトップ選手が集う大会で大いに刺激を受けることができました。

図書館便り

学生図書委員会の活動

ブックハンティングに行ってきました!!

10月30日(土)に紀伊國屋書店(アミコ徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんの本を選んでくれました。



～ブックハンティングに参加して～

1-4 前田彩乃

今回ブックハンティングに参加して、学校の図書室に入れる本を選んだのですが、図書館にふさわしい本を選ぶのが大変でした。ですが、限られた予算のなかで沢山ある本の中から探さずのはとても楽しかったです。また機会があれば参加したいです。

2E 佐野謙介

ブックハンティングには時間が1時間以上ありましたが、本を探すのに夢中になり時間はあっという間に過ぎました。結局、時間が足りずに十分な冊数の本を選べませんでした。しかし、時間をかけた甲斐あって納得のいく本選びができました。私の選んだ本がみんなに読まれるのが楽しみです。

2Z 増金愛一郎

先日、ブックハンティングに参加しました。とても大きい書店で目当ての本を見つけるのに苦労しました。目を引く本を次々と購入していくと直ぐに予算を超えてしまいました。魅力的な本をたくさん選んだので図書館に届くのが楽しみです。

5E 篠原輝

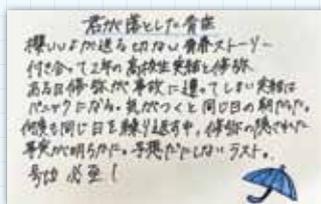
今年で5年生になる私ですが図書委員会には初めて入り、Book Huntingも初でした。紀伊國屋は1階全て本が並び壮观で読んでいく内にこの空間が好きになりました。この歳でも本が好きになれると実感した時でした。

5I 唐住祐哉

本を選ぶ作業は大変ではありましたが楽しく参加することができました。他コースの人と見て回ったので視野が広がり、ほかにも趣味やコースの違いによる意見交換は良い刺激になりました。今後、本屋で本を見る眼が変わったように思います。

～学生図書委員オスめの一冊～

オススメしたい本のポップを描いてもらいました。その中からいくつかを紹介します。



1年3組
戎 彩虹

「君が落とした青空」
913.6 || Sa47
文庫・新書コーナー

3I
奈良拓海

「世界最高の暗殺者、
異世界貴族に転生する」
913.6 || Ts65
文庫・新書コーナー



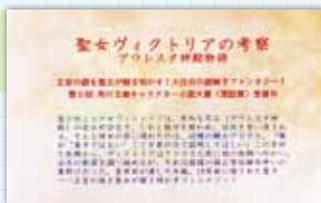
4E
松下知矢

「この恋は世界でいちばん美しい雨」
913.6 || U98
文庫・新書コーナー



4I
武田天海

「聖女ヴィクトリアの考察
アウレスタ神殿物語」
913.6 || H34
文庫・新書コーナー



ビブリオバトル

今年度からビブリオバトルを始めました。前期は教員によるビブリオバトルでしたが、後期は第3回から第5回まで学生によるビブリオバトルを実施しました。各回5、6名の学生図書委員にパトラーを担当してもらい、ギャラリーも図書委員以外の本好きの学生や教職員が毎回15名程度集まりました。以下、各回のチャンプ本を紹介します。

第3回(2021/11/6) 4E 松下知矢さんの紹介

乙野四方『僕が愛したすべての君へ』『君を愛したひとりの僕へ』
(ハヤカワ文庫、2016年)

第4回(2021/12/21) 1-4 前田彩乃さんの紹介

櫻いいよ『君が落とした青空』(スターツ出版文庫、2015年)

第5回(2022/1/17) 2C 野村侑世さんの紹介

永松茂久『喜ばれる人になりなさい』(すばる舎、2021年)

図書委員会では、来年度も引き続きビブリオバトルを開催予定です。
関心のある学生の積極的な参加を希望しています。



第4回ビブリオバトル



第5回ビブリオバトル

学生アルバイトより

一年間、学生アルバイトをして思ったことを綴ってもらいました。

私はこのアルバイトで本への関心がさらに高くなりました。アルバイトをする前は図書館に本を借りる目的ではなく、自習をするために利用していました。

しかし、本のPOPづくりや新着の本を読むことで様々な種類の本に出会うことが出来ました。とても良い経験になりました。

5M 山口 堅也



この一年間、図書館バイトをしてよかったことはいろんな本に出会えたことです。

もともと推理小説が好きでよく読んでいたのですが、ここ数年は勉強が忙しく、ゆっくりと本を読む時間が取れなかったため、読書から離れていましたがPOP作りなどで普段は読まないようなジャンルの本も読むことができて、とても楽しかったです。

5M 大原 空



一年間お疲れ様でした!!

図書館職員からの推薦図書

砂漠が街に入りこんだ日

グカ・ハン 著

* 閲覧室 953.7||H27



著者は韓国人ですが、渡仏しフランス語でこの短編集を書き上げデビューしました。

「母国語では書くことができなかったよ」と語ったそうですが、どの話も韓国を彷彿とさせるものがあります。

どこにでもありそうな日常のようで、どこにもない非日常が読み応えのある文章で表現されています。



静謐で美しい文章ながらも生々しい文章を、ぜひ体験してみてください。

レスキューナースが教えるプチプラ防災

辻 直美 著

* 閲覧室 369.3||Ts41



みなさんはもしもの時の備えができていますか？

本書は様々な災害に備えるためのアイデアがたくさん書かれています。なかでも、百均のアイテムを使用したプチプラグッズもたくさん紹介されているので、比較的安く防災グッズの準備ができます。



いつ来るか分からない災害に備えて、自分や家族の身を守るようにしておきましょう!!

図書館からのお知らせ

※現在、一般の方はご利用いただけません。ご了承ください。

- 開館時間**
- 平日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
 - 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)
 - 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。
(貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。)

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

貸出期間 15日間 (休業期間中は、延長)

★館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用いただけます。
★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106

E-mail tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

URL <https://www.anan-nct.ac.jp/facility/library/>



投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。
読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。

各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
第37回阿南市会長杯バドミントン大会					
2021.10.3	団体	男子 団体二部	準優勝		
徳島県高等学校学年別選手権大会 弓道競技					
2021.10.9	個人	第1学年の部 男子	第3位	1-3	森 悠生
徳島県高等学校新人テニス大会					
2021.10.9	個人	女子 ダブルス	準優勝	1-1 2E	宮内 優衣 宇津 和奏
2021.10.16	個人	女子 シングルス	準優勝	1-1	宮内 優衣
第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト					
2021.10.10	団体	課題部門	敢闘賞	3I 4I 4I 3I 2I	中田 東吾 吉本 磨生 古田宗一郎 倉 渕 光希 吉永 伊吹
第66回徳島県総合選手権大会 バドミントン競技					
2021.10.16	個人	男子 四部シングルス	優勝	2M	浅野 俊亮
	個人	男子 三部ダブルス	優勝	2M 2M	鎌谷 亮汰 竹林 佑真
	個人	男子 三部ダブルス	第3位	2M 3C	浅野 俊亮 佐藤 綾人
2021.10.17	個人	男子 一部シングルス	第3位	3C	井上 怜嗣
徳島県高等学校新人柔道選手権大会 柔道競技					
2021.10.16	個人	男子 60kg級	第3位	1-3	石川 聖和
2021.10.17	団体	男子 団体	第3位		
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021 四国地区大会					
2021.10.24	団体	Aチーム「メイドインアナン」 セメダイン賞・奨励賞		3M 3M 3I 3M	薦谷 季紀 時本 信 高橋 圭 伊月 大登
	団体	Bチーム「轟々阿南」 奨励賞		2I 2Z 2M	中野善一郎 中西 慧 高瀬 暖生
第10回徳島陸上競技秋季カーニバル					
2021.10.31	個人	一般女子 800m	第1位	3C	黒田 凜
第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会徳島県予選会					
2021.11.6	団体	男子	第3位		
第56回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技兼 第45回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会					
2021.12.5	個人	男子 シングルス	第3位	3C	井上 怜嗣

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
令和3年度阿南市人権啓発ポスター・人権作文・人権啓発標語					
2021.12.5	個人	阿南市人権啓発ポスター	最優秀	1-4	森上 紗英
		阿南市人権啓発ポスター	入選	1-2	國方 圓己
		阿南市人権啓発ポスター	入選	1-3	瀬部亜主真
		阿南市人権啓発ポスター	入選	1-4	山西 一仁
		阿南市人権作文	入選	2E	武田 真衣
		阿南市人権啓発標語	入選	3E	五島 陽香
		阿南市人権啓発標語	入選	3C	上岡 暉和
		阿南市人権啓発標語	入選	3Z	西田穂菜美
		阿南市人権啓発標語	入選	3I	北川 玲奈
		阿南市人権啓発標語	入選	3I	北野 敦己
第43回四国地区高等専門学校総合文化祭					
2021.11.20	個人	英語スピーチ コンテスト部門 (プレゼンテーション・ シングル部門)	第1位 第2位	5Z 4M	森 ひなた 山本 泰生
2021.12.18	団体	吹奏楽部門	優良賞		
	個人	絵画部門	優秀賞	1-1	今井 美嘉
			佳作	3C	美馬 好大
			佳作	4C	加藤 桃香
		写真部門	佳作	5Z	鎌田 郁矢
			佳作	5I	高橋 直樹
2021.12.19	個人	書道部門	優秀賞	2AE	橋本 日菜子
			佳作	5M	入江 菜都
第19回キャンパスベンチャーグランプリ (CVG) 四国					
2021.12.14	団体		佳作	5E 5E 5E 5E 5E	川尻 睦月 鶴岡 蒼久 中川 功士 平田美乃里 三橋 魁
第56回全国高等専門学校体育大会 水泳競技					
2021.12.18	個人	男子 200m背泳ぎ	第3位	3C	松本 直大
2021.12.19	個人	男子 100mバタフライ	第1位	3C	松本 直大
福岡大学主催第17回全国高校生川柳コンクール					
2021.12.24	個人		優秀賞	3E	生田 生
			入賞	3C	白草 慶大
第35回東洋大学「現代学生百人一首」					
2022.1.15	個人		入選	5M	丸山 賢人
第19回阿南市バドミントン選手権大会					
2022.1.23	個人	男子 シングルス三部	準優勝	1-1	片野 蓮音

編集後記

たまには、いろんな人の思いが詰まった文章を読むのもいいものですね。この便りが卒業生の思い出に、そして在校生への激励になることを願って。

2022年3月吉日

令和3年度 高専便り編集委員

山田 洋平(一般教養)、中島 一(一般教養)
 榎田 雅弘(一般教養)、松浦 史法(機械コース)
 多田 豊(建設コース)、福見 淳二(情報コース)